

令和6年度松本市ユニバーサルデザイン推進会議における委員意見への対応状況（1/2）

令和6年度松本市ユニバーサルデザイン推進会議（令和7年3月19日）における委員意見への対応状況を報告するものです。

分野	委員からのご意見	対応状況等
①ひとづくり	社会活動・社会参画の推進 オンライン教育支援センターの取組みは、支援の足掛かりとしては評価できる。オンラインから、 <u>対面でのコミュニケーション等、次のステップにつなげる支援策、支援方法の検討に期待したい。</u>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>【R7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面交流会（年間で計4回開催）やオンラインでのセンター職員・他の利用者との交流で気持ちが変わり、登校に至ったり登校日数が増えたりする利用者が出るなどの効果があった。 <p>【R8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面での交流回数や内容を拡充予定 </div> <div style="width: 35%; text-align: right;">  <p>ハロウィンパーティー （10月開催）</p> </div> </div>
①ひとづくり	社会活動・社会参画の推進 部活動の地域移行は、子どもの経験格差の拡大や、 <u>送迎による共働き世帯への負担増</u> などユニバーサルデザインに逆行する部分もあるように感じる。教員の負担軽減が喫緊の課題であることは十分認識しているが、 <u>地域移行を進めるに当たっては、子どもたちの経験を確保する機会の担保等も併せて検討</u> いただきたい。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>【R7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7. 9 体験型イベント「まつチャレフェスタ！2025」を開催し、地域クラブの体験機会を提供（約800人が参加） 9 地域クラブへの移動時間の短縮を図るため、各学校に自転車通学要件の緩和を依頼 ・R8. 2 松島中学校において、学区周辺の地域クラブを参集して説明を行う「地域クラブ相談会」を開催（約100人が参加） <p>【R8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域クラブを紹介する「地域クラブポータルサイト」を構築予定 </div> <div style="width: 35%; text-align: right;">  <p>まつチャレフェスタ！ 2025</p>  <p>松島中学校 地域クラブ相談会</p> </div> </div>
②まちづくり	建物・施設 松本市では、公共施設のトイレのバリアフリー化は一定の目途がついたと理解。一方で、 <u>既存施設に設置されているトイレの男女比については、更なる取組みが必要</u> ではないか。施設の改修や新設時には、トイレの男女比率を考慮されたい。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>【R7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市野球場外トイレ（男子・女子・多目的）を新設 ・野球場の外周に東屋タイプの男女共用トイレが設置されていたが、女性や障がい者に配慮したトイレを新設したものの。 <p>【R8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波田中央運動広場トイレ（男子・女子・多目的）を新設予定 </div> <div style="width: 35%; text-align: right;">   </div> </div>

分野		委員からのご意見	対応状況等
②まちづくり	まちづくり	積極的に公園にインクルーシブ遊具を設置をしている自治体もあるので、松本市でも同様に進めていただきたい。	<p>【R7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルプス公園に「グループスイング」を設置 ・あがたの森公園に「複合遊具」を設置 <p>【R8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに芳川公園、庄内公園、倭公園にインクルーシブ遊具を設置予定  
②まちづくり	まちづくり	外国籍の在住者や、インバウンドが増えている現状からすると、災害時の情報提供について検討が必要。日本語が伝わらない外国人に、いかに必要な情報を伝えるか具体的な方法を検討されたい。	<p>【R7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R8.2 観光危機管理に関する事業者向けのセミナー及びワークショップを開催 市内の宿泊事業者等約70人が参加 <p>【R8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光危機管理計画を策定予定  
②まちづくり	観光	ヴィーガンやムスリムの観光客の受入環境整備は重要。食宗教、食習慣は非常にセンシティブな内容であり、トラブルにつながると口コミで情報が拡散し、旅行客の減少につながりかねない。市でR7年度から実施する事業については、 <u>多くの方に重要性を知ってもらい、取り組みが地域に広がるよう進めていただきたい。</u>	<p>【R7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の多様性対応に向けた市内飲食店向けのセミナー、店舗支援、ピクトグラム作成等を実施 <p>↓市内飲食店向けのセミナー</p>  <p>【R8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、店舗支援、対応店舗の情報をHP等で発信予定
④ソフトづくり	情報	おくやみ窓口等は非常に良い取り組みだが、今まで存在を知らなかった。市で良い取り組みをしている、市民に伝わらなければ期待する効果が得られないのではないかと。取り組みによっては、イベントを実施する等、PR方法を工夫されたい。	<p>【R7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン窓口の市民側拠点の地区内にチラシ配布、周辺地区に積極的PRを実施 ・オンラインで受付・申請まで完結できる手続きを拡充 ・利用実績 511回 (R8.2月末時点) 
④ソフトづくり	サービス	おくやみ窓口は、ワンストップで35の手続きができる点が画期的だと理解。ユニバーサルデザインの観点から考えると、これを「すごいこと」で終わらせるのではなく、あらゆる手続きがワンストップでできることが「当たり前」になるよう取り組みを進めていただきたい。	<p>【R8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン窓口の市民側拠点について、芳川出張所、梓川支所の2拠点を増設予定